

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、半期ごとにでん粉の需給見通しを公表している。3月に公表したでん粉の需給見通しの概要は、次の通り。

でん粉の需給見通し

【平成27でん粉年度（実績）】

需要量：265万8000トン（前年度比3.5%増）

供給量：269万トン（同3.1%増）

【平成28でん粉年度（見通し）】

需要量：270万8000トン（同1.9%増）

供給量：271万6000トン（同1.0%増）

表 1 でん粉の需給見通し

（単位：千トン）

		26でん粉年度 （実績）	27でん粉年度 （実績）			28でん粉年度 （見通し）		
		計	10－3月	4－9月	計	10－3月	4－9月	計
需要	糖化製品	1,721	815	939	1,754	832	954	1,787
	化工でん粉	324	174	162	336	175	164	339
	その他（製紙用、ビール用、片栗粉など）	523	270	299	568	280	302	581
	合 計	2,568			2,658			2,708
供給	前年度繰り越し	37			42			32
	国産いもでん粉（生産量）	231	223	—	223	189	—	189
	かんしょでん粉	37	35	—	35	38	—	38
	ばれいしょでん粉	194	188	—	188	151	—	151
	調整金 徴収 対象							
	コーンスターチ	2,190	1,060	1,213	2,273	1,086	1,227	2,313
	輸入でん粉 （糖化製品、化工でん粉用）	128	63	65	128	74	76	150
	輸入でん粉（その他用）	7	3	4	7	6	9	16
	小麦でん粉	18	9	8	17	9	8	17
	合 計	2,610			2,690			2,716
次年度繰り越し		42			32			8

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」
注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。
注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

表2 国内産いもでん粉の需給見通し

(単位：千トン)

			28年10月～29年3月 (見込み)			29年4月～9月 (見通し)			28でん粉年度計		
			かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	上期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	下期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	計
需要	交付金 対 用 途	糖化製品	13	17	30	11	11	22	24	28	52
		化工でん粉	2	17	19	1	15	15	2	32	34
		その他	6	22	28	6	21	27	12	43	55
		小 計	20	55	76	18	47	65	38	102	140
	その他の用途		0	37	37	0	36	36	0	72	72
	計		20	92	112	18	83	101	38	175	213
供給	前期からの繰り越し		4	28	32	22	87	109	4	28	32
	生産量		38	151	189	0	0	0	38	151	189
	計		42	179	221	22	87	109	42	179	221
次期への繰り越し			22	87	109	4	4	8	4	4	8

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注3：交付金対象用途の「その他」について

ばれいしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、調味料、板紙（層間接着用）、水産養殖餌料などである。

かんしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、建材などである。

注4：交付金対象用途外の「その他の用途」は、片栗粉などである。

(1) でん粉の需要量の見通し

用途ごとのでん粉の需要量の見通しは以下の通り。

【糖化用向けでん粉の需要量】

平成27でん粉年度は、前年度からわずかに増加

27でん粉年度は、異性化糖の需要期である夏場の気温が前年度と比べ高温で推移したため、前年度を3万3000トン上回る、175万4000トンとなった。

28でん粉年度は、毎年の気象変動による影響はあるものの、主要製品である異性化糖は引き続き堅調な需要が見込まれることから、前年度を3万3000トン上回る、178万7000トンの見通しとなった。

【化工でん粉用向けでん粉の需要量】

平成27でん粉年度は、前年度からやや増加

27でん粉年度は、製紙・段ボール向けの需要が増加し、前年度を1万2000トン上回る、33万6000トンとなった。

28でん粉年度は、製紙・段ボール向けの需要が減少したものの食品向け需要が見込まれることから、前年度を3000トン上回る、33万9000トンの見通しとなった。

【その他用途向けでん粉の需要量】

平成27でん粉年度は、前年度からかなり増加

27でん粉年度は、製紙・段ボール向けの需要が増加し、前年度を4万5000トン上回る、56万8000トンとなった。

28でん粉年度は、段ボールおよび食品向け需要が見込まれることから、前年度を1万3000トン上回る、58万1000トンの見通しとなった。

(2) でん粉の供給量の見通し

各種でん粉の供給量の見通しは以下の通り。

【かんしょでん粉の生産量】

平成27年度は、前年からやや減少

27年度の原料かんしょについては、植え付け後の活着はおおむね良好であったが、6月から8月に

かけての低温、日照不足、多雨などの影響によりいもの肥大が抑制され、かんしょでん粉の生産量は、前年を2000トン下回る、3万5000トンとなった。

28年産は、植え付け後の活着は良好で日照時間も多かったことから、前年を3000トン上回る、3万8000トンと見込まれる。

【ばれいしょでん粉の生産量】

平成27年産は、前年からやや減少

27年産の原料ばれいしょについては、春先の良好な天候から植え付けは順調に進み、原料集荷量はほぼ前年並みとなったものの、ライマン価が前年より低かったことから、ばれいしょでん粉の生産量は、前年を6000トン下回る、18万8000トンとなった。

28年産は、北海道における6月以降の長雨や8月の度重なる台風被害により収穫量が平年を大きく下回ったことから、前年を3万7000トンと大幅に下回り、15万1000トンと見込まれる。

【コーンスターチの供給量】

平成27年でん粉年度は、前年度からやや増加

2015年産は、わが国のコーンスターチ用トウモロコシの過半を供給する米国において、コーンベルト東部での多雨の影響で作況が悪化したことにより、生産量は、前年から1600万トン減少し、3億4600万トンとなったものの、必要量は安定的に供給された。

2016年産の米国のトウモロコシは、作付時期の天候に恵まれたことから、生産量（3億8500万トン）、輸出量ともに前年度より増加すると見込まれており、必要量は安定的に供給されるものと見込まれている。

28でん粉年度は、国産いもでん粉の供給量の大幅な減少などによるコーンスターチの需要の増加により、供給量はでん粉ベースで前年を4万トン上回り、231万3000トンの見通しとなった。

【輸入でん粉の供給量】（糖化製品、化工でん粉用）

平成27でん粉年度は、前年度同

27でん粉年度は、需要に応じた必要量が輸入され、前年度同の12万8000トンとなった。

28でん粉年度は、国内産いもでん粉の供給量の大幅な減少により糖化用および化工用の輸入でん粉の需要が増加するものと考えられ、前年度を2万2000トン上回る、15万トンの見通しとなった。

【輸入でん粉の供給量】（その他用）

平成27でん粉年度は、前年度同

27でん粉年度は、用途に応じた必要量が輸入され、前年度同の7000トンとなった。

28でん粉年度は、昨今の需給動向を踏まえ、前年度を9000トン上回る、1万6000トンの見通しとなった。

【小麦でん粉の供給量】

平成27でん粉年度は、前年度からやや減少

小麦でん粉は、主に畜水産練製品向けとして供給されており、27でん粉年度は1万7000トンとなった。

28でん粉年度についても、安定した供給がなされると見込まれ、1万7000トンの見通しとなった。

2. 輸入動向

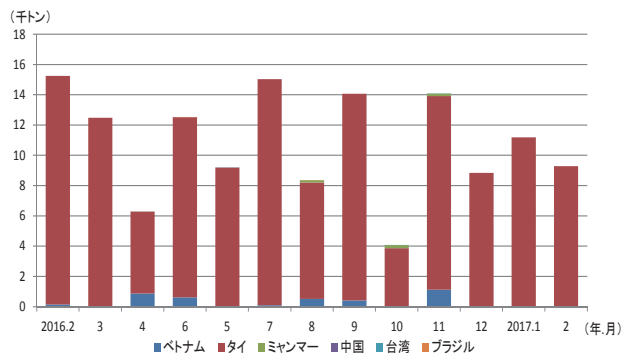
【タピオカでん粉の輸入動向】

2月の輸入量は前年同月および前月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2017年2月のタピオカでん粉の輸入量は、9288トン（前年同月比39.1%減、前月比16.9%減）と、前年同月および前月から大幅に減少した（図1）。輸入先国はタイとベトナムで輸入量は次の通りであった。

タイ 9287トン
(前年同月比38.5%減、前月比16.9%減)
ベトナム 1トン
(同99.3%減、前月輸入実績なし)

図1 タピオカでん粉の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

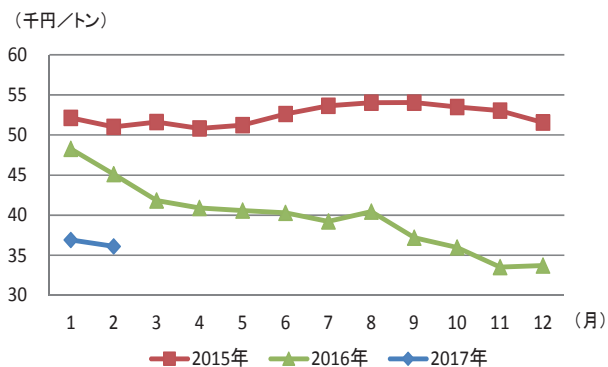
注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090

2017年2月の1トン当たりの輸入価格は、3万6115円（前年同月比20.0%安、前月比2.2%安）と、前年同月から大幅に下落した（図2）。

同月の輸入先国はタイとベトナムで1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ 3万6092円
(前年同月比20.0%安、前月比2.2%安)
ベトナム 25万円
(同5.6倍、前月輸入実績なし)

図2 タピオカでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090

【サゴでん粉の輸入動向】

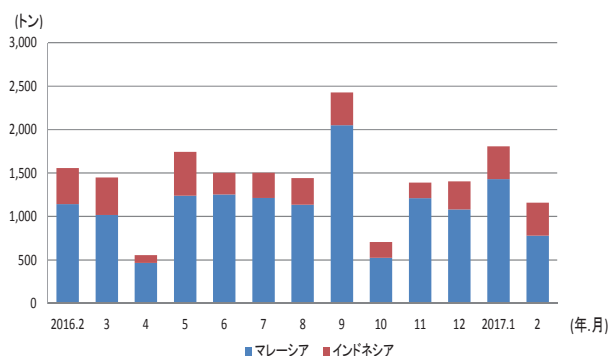
2月の輸入量は前年同月および前月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2017年2月のサゴでん粉の輸入量は、1159トン（前年同月比25.6%減、前月比35.9%減）と、前年同月および前月から大幅に減少した（図3）。

輸入先国はマレーシアおよびインドネシアで国別の輸入量は次の通りであった。

マレーシア 781トン
(前年同月比31.7%減、前月比45.4%減)
インドネシア 378トン
(同8.7%減、前月同)

図3 サゴでん粉の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

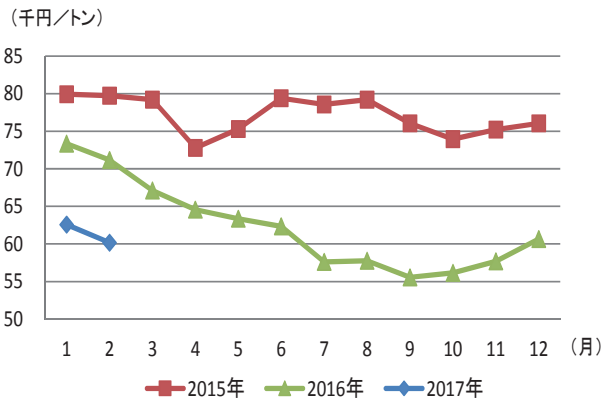
注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-019

2017年2月の1トン当たりの輸入価格は、6万176円（前年同月比15.4%安、前月比3.8%安）と、前年同月からかなり下落した（図4）。

同月の国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

マレーシア 6万134円
(前年同月比15.2%安、前月比4.3%安)
インドネシア 6万262円
(同16.1%安、同2.2%安)

図4 サゴでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-019

【ばれいしょでん粉の輸入動向】

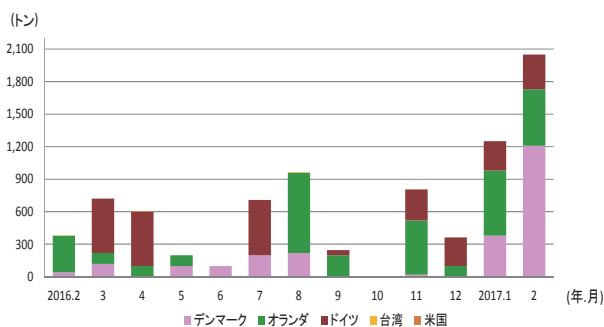
2月の輸入量は前年同月および前月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2017年2月のばれいしょでん粉の輸入量は、2050トン（前年同月比5.4倍、前月比63.8%増）と、前年同月および前月から大幅に増加した（図5）。

輸入先国は3カ国で国別の輸入量は次の通りであった。

デンマーク	1208トン
（前年同月比30.2倍、前月比3.2倍）	
オランダ	520トン
（同52.9%増、同13.3%減）	
ドイツ	322トン
（前年同月輸入実績なし、前月比18.7%増）	

図5 ばれいしょでん粉の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

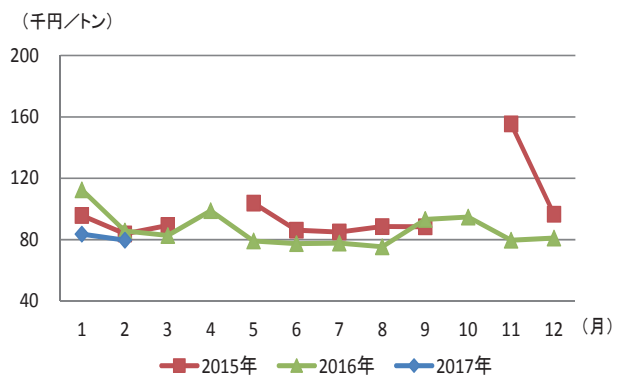
注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090

2017年2月の1トン当たりの輸入価格は、7万9691円（前年同月比6.9%安、前月比4.6%安）と、前年同月および前月から下落した（図6）。

同月の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

デンマーク	7万6078円
（前年同月比9.9%安、前月比1.3%安）	
オランダ	7万7154円
（同8.4%安、同0.8%安）	
ドイツ	9万7364円
（前年同月輸入実績なし、同7.8%安）	

図6 ばれいしょでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注1：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090

注2：2015年4月、10月のばれいしょでん粉については、輸入量がわずかだったため、価格の推移を見るのに適当ではないことから、グラフへの記載は省略する。

2015年4月：輸入量4トン、1トン当たり50万円

10月：同2トン、同98万円

【でん粉誘導体の輸入動向】

2月の輸入量は前年同月および前月からかなり減少

財務省「貿易統計」によると、2017年2月のでん粉誘導体の輸入量は、2万7921トン（前年同月比8.9%減、前月比7.7%減）と、前年同月および前月からはかなり減少した（図7）。

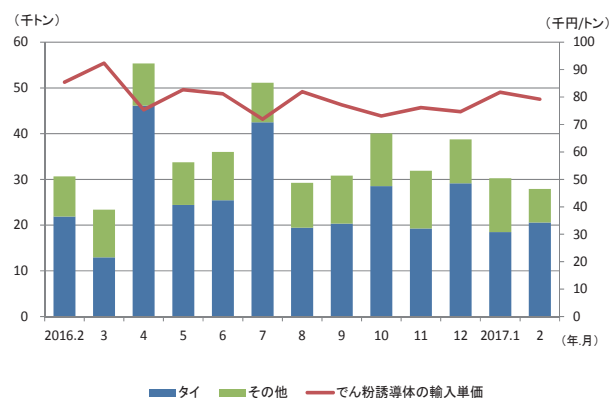
でん粉誘導体の輸入先国は17カ国で、最大の輸入先国はタイであった。主要輸入先国からの輸入量は次の通りで、タイが輸入量の7割以上を占めてお

り、その他の国はいずれも10%未満となっている。

タイ	2万562トン（シェア73.6%）
ベトナム	1627トン（同5.8%）
豪州	867トン（同3.1%）
米国	862トン（同3.1%）
中国	843トン（同3.0%）

2017年2月の1トン当たりの輸入価格は、7万9218円（前年同月比7.3%安、前月比3.1%安）と、前年同月からかなり下落した。

図7 でん粉誘導体の輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード3505.10-100

【デキストリンの輸入動向】

2月の輸入量は前年同月および前月から大幅に増加

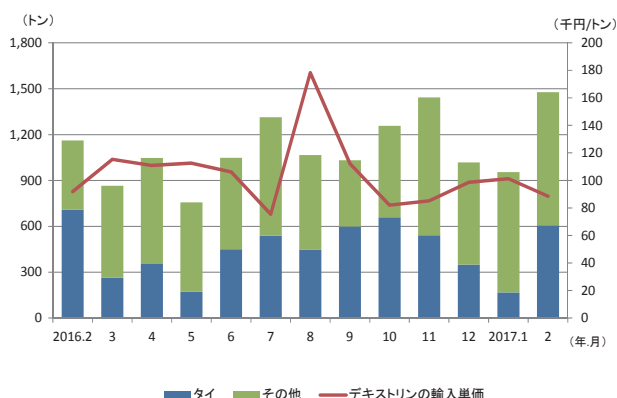
財務省「貿易統計」によると、2017年2月のデキストリンの輸入量は、1477トン（前年同月比27.2%増、前月比54.6%増）と、前年同月および前月から大幅に増加した（図8）。

デキストリンの輸入先国は9カ国で、デキストリンの輸入量は、上位輸入先国の数量および各国のシェアも含め、月ごとの変動が大きい。上位輸入先国からの輸入量は次の通りで、タイが輸入量の4割以上を占め、次いでベトナム、マレーシアとなっている。

タイ	607トン（シェア41.1%）
ベトナム	301トン（同20.4%）
マレーシア	190トン（同12.9%）
ベルギー	151トン（同10.2%）
フランス	151トン（同10.2%）

2017年2月の1トン当たりの輸入価格は、8万8491円（前年同月比3.8%安、前月比12.6%安）と、前月からかなり下落した。

図8 デキストリンの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード3505.10-200

【コーンスターチ用トウモロコシの輸入動向】 2月の輸入量は前月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2017年2月のコーンスターチ用トウモロコシの輸入量は、22万8734トン（前年同月比0.3%増、前月比41.1%増）となり、前月から大幅に増加した（図9）。輸入先国は米国のみで輸入量は次の通りであった。

米国	22万8734トン
	（前年同月比13.7%増、前月比53.4%増）

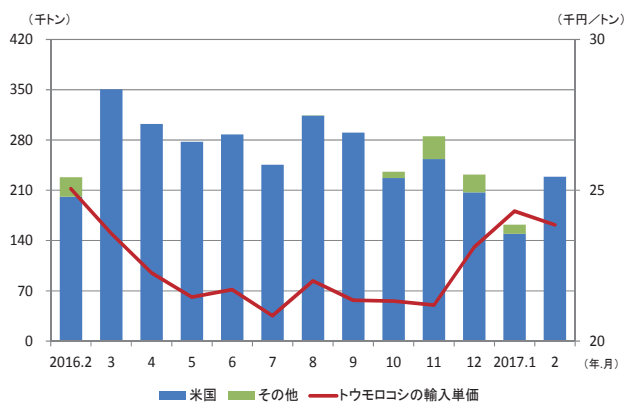
また、1トン当たりの輸入価格は、2万3851円（前年同月比4.8%安、前月比1.9%安）となり、前月からわずかに下落した。

同月の1トン当たりの輸入価格は、次の通りで

あった。

米国 2万3851円
(前年同月比6.3%安、前月比2.0%安)

図9 コーンスターチ用トウモロコシの輸入量
および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1005.90-091